

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	国民文化祭を契機とした三の丸尚蔵館の地方展開			<b>担当部局庁</b>	文化庁	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始年度</b>	令和2年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	文化財第一課	文化財第一課長 齋藤 憲一郎				
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	文化芸術基本法 第8条、12条			<b>関係する計画、通知等</b>	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針) (平成27年5月22日閣議決定)					
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国規模の文化の祭典である「国民文化祭」開催地の博物館・美術館等において、三の丸尚蔵館収蔵品を中心とした国等が有する貴重な文化財を紹介する展覧会を開催し、この展覧会を通じ、皇室文化への国民の理解の促進、文化の愛護、地方文化の振興による地方創生・国内観光の振興、国内外への日本の美の発信を目指す。									
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	宮内庁と連携し、同祭典開催予定都道府県と協議の上、開催館を決定、作品輸送(輸送にかかる保険契約を含む)や展覧会にかかるリーフレットを作成する。 (令和4年度:沖縄県立美術館 令和5年1月~令和5年2月) (令和3年度:宮崎県美術館 令和3年10月~令和3年12月/和歌山県立博物館 令和3年12月~令和4年1月)									
<b>実施方法</b>	委託・請負									
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	8	8			
		補正予算	-	16	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	16	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	16	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		0	32	16	8	8			
	執行額		-	0	11	-	-			
	執行率(%)		-	0%	69%	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	#DIV/0!	-	-			
<b>令和4・5年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	芸術祭等運営費		8	8						
	職員旅費		0.5	0.5						
	計		8	8						
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	全国規模の文化の祭典である「国民文化祭」開催地の博物館・美術館等に対し、三の丸尚蔵館地方展開に係る、作品輸送(輸送にかかる保険契約を含む)や展覧会にかかるリーフレットを作成する。									
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	三の丸尚蔵館から特別展開催予定県への作品貸出を実施	三の丸尚蔵館から特別展開催予定県への貸出を行う作品点数	活動実績	点	-	-	75	-	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	事業費/貸出を行う作品点数		単位当たりコスト		-	-	-	0.2		
			計算式	/	-	-	-	8(百万円)/43(点)		
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	皇室文化への国民の理解の促進、文化の愛護、地方文化の振興による地方創生・国内観光の振興、国内外への日本の美の発信を目指す。	特別展への入場者数人数計 和歌山展 10,000人 宮崎展 12,000人	成果実績	人	-	-	12,735	-	-	
			目標値	人	-	-	22,000	-	-	
			達成度	%	-	-	58	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典)	過去の同等規模の特別展を参考に目標値を設定しました。 和歌山)令和元年度 特別展「仏像と神像へのまなざしー守り伝える人々のいとなみー」(令和元年4月27日(土)~6月2日(日)、33日間)入場者数:9,356人 宮崎)平成28年 宮崎県立美術館で入場無料で35日間実施した「伊東マンショ」展(入場者数:12,096人)									

政策評価 新 計	政策	文化芸術の振興		
	施策	文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_1.pdf</a>
			該当箇所	-

**事業所管部局による点検・改善**

		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は皇室文化への国民の理解の促進、文化の愛護、地方文化の振興による地方創生・国内観光の振興、国内外への日本の美の発信を目指す国策と社会のニーズを反映するものである。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	三の丸尚蔵館が所蔵する皇室ゆかりの名品を、多くの方々の鑑賞に供するべく、積極的な地方展開を国が進める必要がある。		
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	特別展開催のための美術工芸品輸送やリーフレット製作は不可欠な事業である。		
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札で事業者選定を実施しており、妥当な選定方法といえる。		
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無			
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無			
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	人件費等は地方博物館・美術館等が負担しており、妥当な分担といえる。		
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-		
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	必要不可欠なものに限定されている。		
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	三の丸尚蔵館が所蔵する皇室ゆかりの名品を、多くの方々の鑑賞に供することを示す指標として特別展入場者数を成果目標とすることは適当である。新型コロナウイルス蔓延のため、特に地域外から見込まれる入場者数が十分に増えなかった。		
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	地方開催県が単独で事業を行う場合と比べ、宮内庁や文化庁の持つノウハウを生かすことができ低コストでの実施が可能となる。		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	三の丸尚蔵館から各開催県へ地方展開を行う作品点数を活動実績とする。見込みの作品点数は開催県あたりの予算規模・展覧会規模からしても妥当な点数である。		
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	昨年度実績なし		
関連事業		関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	※宮内庁：開催館と具体の貸与作品を調整。 ※開催館(沖縄県、宮崎県、和歌山県)：会場パネルやポスター等の制作、会場設営及び運営を実施。		
		事業番号			事業名	
		内閣府			三の丸尚蔵館収蔵品の地方展開を行うための経費	
点検・改善結果	点検結果	各種の文化芸術活動を全国的な規模で発表する場である国民文化祭において、三の丸尚蔵館の収蔵品を公開することは、各地域の文化活動の状況に鑑みて必要なことであり、本事業は一定の成果を挙げていると思われる。また、本事業は毎年度新たな都道府県で開催しており、各都道府県の地域の文化資源等の特色を生かしながら、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、事業の充実に努めている。				
	改善の方向性	成果検証の報告等を踏まえながら、今後とも国として継続的に三の丸尚蔵館の地方展開を実施・支援する。				

**外部有識者の所見**

外部有識者による点検対象外

**行政事業レビュー推進チームの所見**

の事業 改善 部内 改容	この事業は、昨年度の外部有識者の指摘を踏まえ、事業の成果を適切に図られているか再度検証を行い、事業目的に対応した指標を設定すべきである。
-----------------------	----------------------------------------------------------------------

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

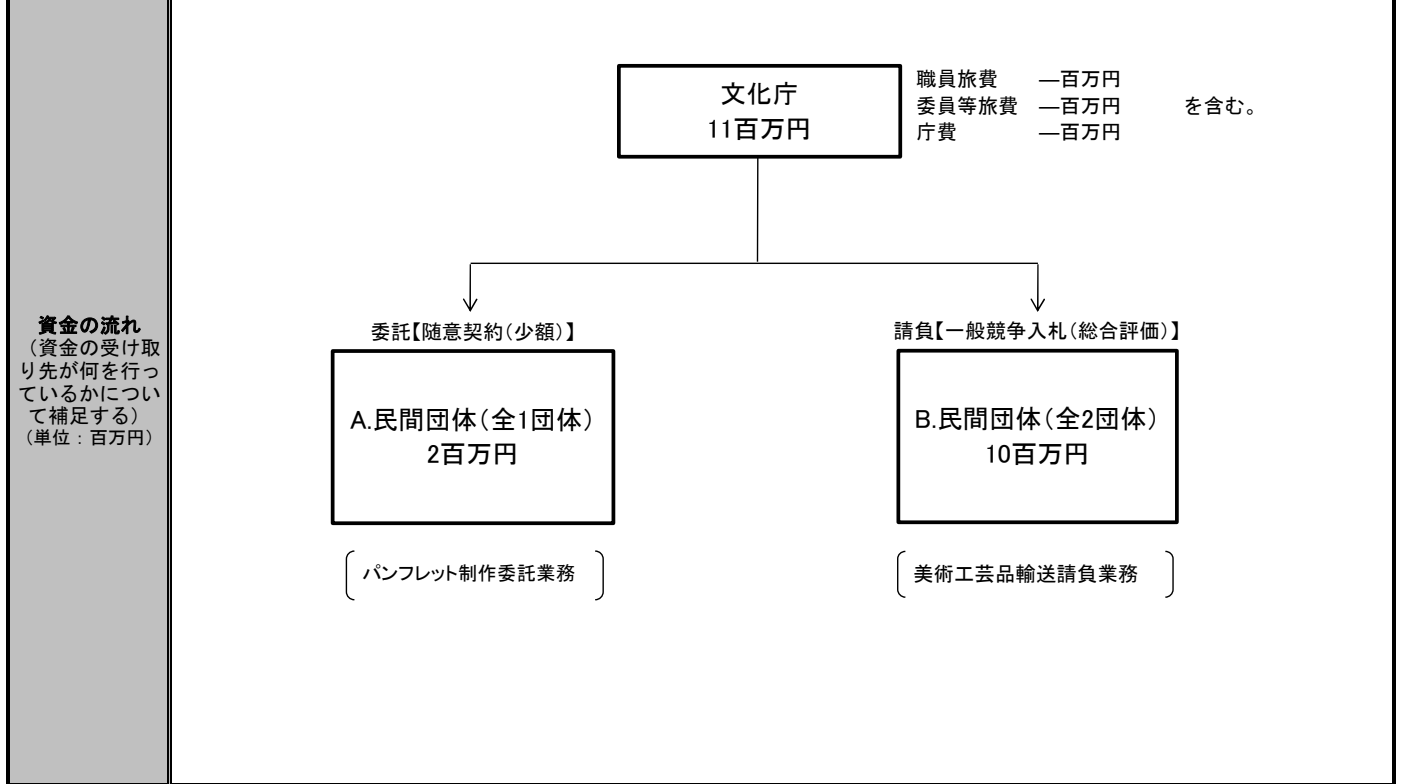
執行 善等 改	従来の評価指標(特別展への入場者数計、貸与作品点数)のみでは不十分であるという指摘を踏まえ、新たにアンケート調査結果をもとに本事業の有効性について検証する指標(展覧会の満足度等)を追加する。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

**備考**

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	文部科学省	新02	0369	
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.株式会社アイワード			B.日本通運株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	文化庁が実施するパンフレット制作に係る経費		2	外部委託	文化庁が実施する美術工芸品の輸送に係る経費	10
計			2	計		10

